

トピックス

女性スタッフによる改善活動

中庸スプリング株式会社

弊社は11年前よりTPM活動を行っており、平成22年から「女性スタッフによる改善活動」を取り組み内容として取り上げました。これは、日頃ルーチンワークに専従しがちな女性スタッフの企画・立案・実行能力向上を目的としています。

全ての女性スタッフが討議し合える内容として、「社員食堂の改善」をテーマとして選定し、食堂利用者（従業員）側と厨房使用者（厨房スタッフ）側と、相反する満足度向上の両立を目指すことにしました。活動は2チームに分け、競い合い、協議する事により、部門間調整能力の習得も視野に入れました。

まず、活動に入る前にQC教育、TPM・TPS教育を行い、第1クール（H22年4月～12月）では主に運用面の改善（メニューの見直し、食缶運搬台車改善による作業効率向上）を、第2クール（H24年4月～12月）ではハード面の改善（ダイニングホールのレイアウト変更による席数の増加と人の流れの整流化）を行いました。

レイアウト変更工事では、工事業者との折衝、工事立会いなど、女性スタッフとしては未経験業務も体験しました。結果、従業員満足度は75%から92%へ17ポイント上昇、厨房スタッフからも、「使いやすくなった」と喜びの声を頂きました。

現在、改善活動に自信を得た彼女たちは、プロジェクト参加やQC活動のテーマリーダーとして活躍しています。



従業員からアンケート収集



QC手法による対策立案



対策実施風景



厨房スタッフと一緒に